

[第877回ゼミ報告] 2024年4月5日号

自民組の組長は自らお咎め無し、影の組長は来る選挙は息子に譲り、元組長には電話のみ。組員の一部のみを処分。結局ウラキン問題は疑惑のまま
3月27日のゼミは、『帝国主義論』の6「列強のあいだでの世界の分割」
7「資本主義の特殊の段階としての帝国主義」を小野さんの報告で行いました。世界的植民政策は金融資本と密接に結びつき、世界が分割され、資本主義が最高の発展を遂げている。3つの世界の分割：アメリカ・ドイツ・日本、イギリス・フランス、ロシア。最新の資本主義の根本的特徴は最大級の資本家独占体が支配し、原料資源を一手に握り、金融資本の国際政策は国家的従属の過渡的形態を作り出す。資本主義的帝国主義は高度な発展段階で、資本主義的自由競争から資本主義独占にとって代わり、独占が自由競争の直接的対立物となった。同時に自由競争を排除せず矛盾・軋轢・紛争を生み出し、独占は資本主義からより高度な制度への過渡である。帝国主義は独占体と金融資本の支配、国際トラストでの世界分割である。報告者から、帝国主義を超越する新たな段階の問題点、アメリカ主導が再び崩れる段階か、と提起。討論では、現代のアメリカの支配は2010年代に崩れている。ロシアの帝政の弱いところへ革命が進行した。日露戦争での勝った日本を過大評価していて、情報の問題でもある。中東での以前のイギリスの支配に対し、アメリカは経済力での新しいタイプと言える。合衆国として先住民・南部の黒人奴隷など植民地であり帝国主義の特殊性がある。最高と最新：前者はその次はないが後者は段階と表現できる。レーニン時代は銀行資本が産業資本を支配して金融資本となったが、現代は産業資本がICTで金融資本となっている。ICTはウクライナのドローンにみるように戦争で不可欠。ロシアは覇権主義だが、かつて植民地だった中国が今や米中対立構造、勢力圏争いへ。会場参加は小野さん・川口さん・山口さん・井貝さん・高田、オンライン参加は竹内さん・後藤さん・中村さんの8名でした。

* 4月10日(第2週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 849 0054 0105 パスコード: 918975

* 4月10日は斎藤幸平『マルクス解体—プロメテウスの夢とその先』

* 第4週ゼミでの『帝国主義論』の次の候補に、佐々木隆治『資本論第3巻』、隅田聡一郎『国家に抗するマルクス「政治の他律性」について』が上がっています。それ以外に候補本があれば、推薦願います。

***** ゼミ日程 *****

4月10日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

斎藤幸平『マルクス解体』はじめに 第1章 物質代謝 報告小野さん

4月24日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

レーニン『帝国主義論』8.寄生性・腐朽 9.批判・報告後藤さん

5月8日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

斎藤幸平『マルクス解体』第2章 M/Eの環境思想 報告者未定

その後 5/22, 6/12, 6/26, 7/10, 7/24 [アイクルの部屋]